

THE 1983 1 KOBECCHO

JANUARY No. 261

月刊神戸っ子

神戸っ子 昭和40年1月20日 第三種郵便物認可
昭和58年1月1日印刷 通巻261号
昭和58年1月1日発行 毎月1回1日発行





A HAPPY NEW YEAR

Brilliant Break

夜明け、
人は素直になる。

夜明けは、くつがえされた宝石箱
息づかいのようにゆれる

ルビーのプレスレット

めざめよりも早く、闇の中から
さにづらふ紅色の衣裳がひらく

Brilliant Break

深い愛につつまれて

世界はルビーの輝き

Brilliant Break Brilliant Break

夜明け 人は素直になる

——1983年、素直さへの回帰。

35年の実績をあらたに、

ニューファッションライフを提案します。

LADIES SHOP
Beniya

the ladies fashion of the four seasons. creative beniya

本店 / 神戸市中央区三宮センター街1丁目 ニューセンター1F・2F ☎332-2135 KOBE・OSAKA・TOKYO



真珠が

もうちよつと

遊びたいって！



 **田崎真珠**

帝国ホテル
インペリアルプラザに
58年3月出店

N.Y.ソーホー発
ユニセックス
スーパーハイカジュアル
"パラシュート"上陸



P A R A C H U T E



A · HAPPY · NEW · YEAR

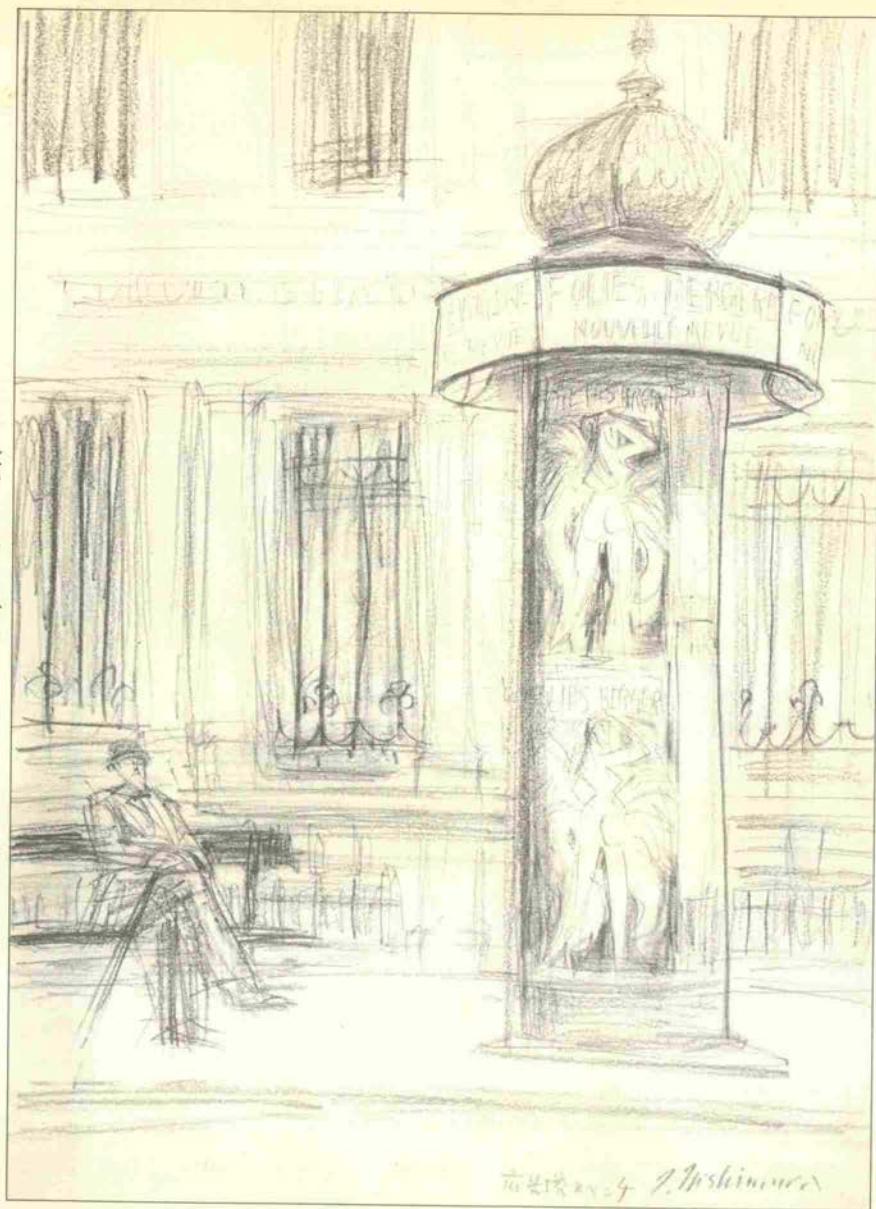
Sanohe

ヌーベルサノヘ/元町1番街078(321)1710

本店/元町1番街078(331)4707

トアロード店/078(331)1952

スケッチブックからへ49 ● ヨーロッパを描く「広告塔とベンチ」



絵・西村 功

広告塔とベンチ 2004 功・西村

A HAPPY NEW YEAR

洗練されたファッション空間

新しい年も新しいファッションを生み出して行きます…

● 4F イベントスペースを各種展示会・催しにご利用ください。



福井商店

三宮・センター街東入口

TEL. 078-331-2701~2

トータルファッションの殿堂



スマイルビルパレス

- 5F** カットハウス
かぐや姫
- 4F** イベントスペース
火曜教室
- 3F** 鹿鳴館
やよい
アダルトサイズ
エルアンナ
クリスチャン・ディオール・コーナー
やよい
世界のメガネショールーム
石川メガネ
ミンク・スエード専門店
チンチラ
- 2F** 舶来・国産高級毛糸・手芸用品
ユニオン
レファッション・ミッシェル・LLL
ブティックヤマモト
セーター・ブラウス・プレタポルテ
スタイルの店
- 1F** インナーショップ
芸 蘭
セーター・ブラウス
スタイルの店
化粧品・アクセサリ
やよい
舶来ボタン・アクセサリ
ピンク
婦人服飾
トモエヤ
ハンドバッグ
ボルサ
クラフトの店
アトリエアルファ
- BF** 生そば・寿し
いなり庵
喫茶
デザートアイランド

21世紀をみつめて『暮らし』をクリエイトします。

あけまして おめでとう ございます

1983

Action for the Best Years



シルバーエリートライフ・マンション、グランドパレス東山(仮称)。
今春分譲開始予定。

シルバーエリートライフ “じゅくとびあ”構想 自然とハーモナイズする暮らし “パレスシリーズ” 地球サイズで生きる— カナダ・コンコルドブレイス ポートピア'81の夢が生んだ 先進の“マリクラフト” ボタンひとつで味覚の喜び コーヒーロボットmr.egro



シルバーエイジを心豊かに生きたい。「住い」の理想郷づくりをめざし、レジャー、医療施設を整えたマンションで住まない間はホテル利用と利益も考えた壮大なプロジェクト。



窓からふと見る風景が心さわやかで、みどり香る小径があり、ファミリーで憩える遊び場がある。心よい住環境。人間の感性にフィットするMINAMIの分譲マンション。



'83年もより国際化の波は高まります。その時代のニーズを先取りした海外不動産。カナダ・コンコルドブレイスへの不動産投資こそ、新しい時代感覚といえるでしょう。



ポートピア'81では“海に住む”をテーマに「ガラテ館」としてフランスより海中ハウスを展示し、21世紀への提案を行いました。ホーバージェットアクアスコープと未来開発。



生きる喜びは味覚の文化。スイスが生んだコーヒーロボットmr.egroは、ボタン一つで、香り深い珈琲が…。全国350店のティールーム、レストラン、ホテルでロボット革命進行中。



株式会社

南インターナショナル

代表取締役社長 南 泰吉 取締役副会長 横山正武 専務取締役 南 春人

本社／神戸市中央区浜辺通5丁目1-14 貿易センタービル17F TEL.078-232-1301(代) 〒651
東京支店／東京都渋谷区猿楽町29-18 ヒルサイドテラスB-8 TEL.03-496-8000(代) 〒150
名古屋支店／名古屋市中区栄1丁目12-10 フシミファーストビル301 TEL.052-203-1018 〒460

謹 賀 新 年



Tajima
宝飾店 タジマ

元町 2 丁目 TEL 331-5761 代表

●第七回神戸女流文学賞受賞

新光江 あたらし・みつえ (主婦)

無邪気な惨酷さを書きたい

シエンキエウイチの「クオ・バデイス」——初期キリスト教徒の受難を綴った同書を、学徒動員の工場の片隅で、こっそり読み耽る白哲の少女がいた。病弱を除けば何不自由なく育った彼女に、やがて訪れる自らの受難を知るよしもない。本名同じ。昭和6年1月、鳥取県鳥取市生まれ。県立高等女学校在学中に発病。結核だった。以後、六年間の闘病生活は彼女から青春と片肺を奪う。ある日、ケラケラ笑いながら雛祭りを祝う夢をみた。「危篤状態だったそうです。でも、それ以来、死が怖くなくなりました。でんと構えちやつたのかしら」。背に30分の「聖痕」を残して彼女は蘇る。そして、結婚、出産、育児……。憧れていた宮の平穏な日常の中で、何かが胎動を始める。50年、女性だけの同人「有珠」へ。処女作のモチーフは手術の体験だった。52年、女ゆえの甘さを克服するため「流永群」へ移る。その第一作が「花いちもんめ」。「行動の裏にある心理、特に人間が持つ無邪気な惨酷さを書くことで人間の悲しさを描きたい」。その基底には被差別者への共感と、死線をくぐった者特有の観照がある。今、キリシタンをテーマにした二作目を構想中。自らも療養中に洗礼を受けた「ちよつぱりひねたクリスチャン」。「いつの間にか、ここの風土が精神の色合いになった」という鳥取を、ほとんど離れない。「受賞式は夫に連れていってもらいます」と51歳の童女が笑った。



お年玉プレゼント 1月2日～5日

●お帰りは、もれなく

「500円優待券」プレゼント!

●Tシャツ、抽選で50名様に。

ご来店の方から、オリジナルTシャツ
その他がその場で当たります。



は
つ
ら
つ、
サ
ウ
ナ
で
お
正
月。

も
っ
と、
ビ
ュ
ー
テ
ィ
ー

も
っ
と、
ヘ
ル
シ
ー

サウナとエステティツク

神戸☆レディスサウナ

神戸三宮・生田新道 ワシントンホテル向かい
TEL 078-321-4742・4741

営業時間 朝10時～夜3時・年中無休



サウナコース.....1,700円
マッサージ.....2,500円
オイルマッサージ.....5,000円
ボディハラフィンバック.....6,000円
エレクトリック瘦身マッサージ.....3,000円

ミネラルソルト瘦身マッサージ.....7,000円
ハラフィンバック美顔.....4,000円
薬草バック美顔.....4,000円
クリーンバック美顔.....4,000円
フェイシャルトリートメント.....5,000円

新年2日正午より営業

2～4日 正午～夜1時 5日より平常どおり

●第七回神戸文学賞受賞

徳留 節とくとめ・みさお（会社員）

一四〇歳まで書きつづけたい。

戦争が終ったとき、徳留さんは二歳だった。戦争の体験といっても無に等しい。それが、十年ほど前から戦争にぶつかってしまった。それは本人の言葉を借りると「ニッチもサッチも身動きが出来なくなる」ほどにだ。四、五年間は戦争体験記など資料読みに明け暮れた。やっと書けるようになったのは五、六年前のこと。「自分が生まれた頃、親爺の世代は戦場で何をやってたのか。戦場で残虐行為をやった男が、今も生きていて、たとえば電車で隣の席に居合わせたりする。それが不思議と言うか、私にとっては驚きだった。これを書かないと何も書くものがないと、そう思い込んでしまったんです」。受賞作『囚鳥の群れ』では、父親の行為を知った息子はどうか、が書かれている。今、生きている自分にとってあの戦争は何だったのか、というテーマを一貫して追求する。「戦争を知る一番いい方法は、手記を読んだり、直接に話を聞くことです、それを超える作品を書きたい」と話す徳留さんの言葉は次第に熱を帯び、「百四十歳、いや、せめて九十歳までは生きて作品を書きつづけたい」と創作に執念を燃やす。

昭和18年2月11日、鹿児島市に生まれる。現在、大阪の広告代理店勤務。カメラ、テニス、少林寺拳法、アスレチック、俳句と趣味は実に多彩だ。京都市で妻子との三人暮らし。39歳。

（大阪・梅田にて）



満足宴会で二次会無用!

仲間と料理で今夜は最高!



● Y M C A 会員同好会
ウエンスデー

千代 英生(ウエンスデー代表)

三度の食事の次にスポーツが
大好きな連中の集まりです。
一年を通じてやっているのは
バスケットボール。夏はヨット
やキャンプ、冬はスキーと何で
も拉戦します。

10代〜30代まで幅広い年齢層
でも、要望に応じてくれるし、
時間もゆつくりとれて、「花銀」
はとても利用しやすい好評です。

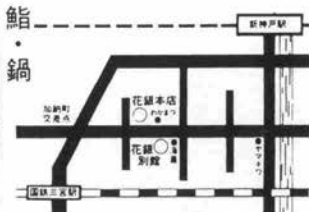
◆ 鮨会席(付出し、造り、天ぷら、鮓、
茶碗蒸し、赤出し、フルーツ) 4,000円

◆ 鍋物 2,950円

◆ 寄せ鍋 5,000円

◆ 魚ちり 2,950円

◆ 35名様まで受付けます。ご予約
は ☎ 22212323 坂本まで



● 大西パーキング駐車無料
● 会員制 別館「花銀」もご利用下さい。

花銀
HANAGIN

神戸市中央区二宮町3丁目10-16
加納町3丁目交差点東「海皇」前
☎ 078122212323 (代)
● 大西パーキング駐車無料
11:30AM〜10:30PM
● 2階、3階はパーティタイムに、カラ
オケ・ピアノもご利用できます。



五周年を迎えて 大きく飛躍を

長い間神戸っ子に待ち望まれていた市民オーケストラは一九七九年の六月に結団式を迎え、翌年一月にデビューコンサートを開催した。最初のオーデションには約百四十名が応募し、五十三名が選ばれている。職業は、会社員、学生、自由業等種々様々で、毎週文化ホールの稽古場で練習を積み重ねている。当時、常任指揮者の朝日奈千足氏は「五年後を期待して見守ってほしい」と語っていたが、いよいよ、その五周年を迎えようとしている。

市民オーケストラとしてはオーデション制をとっているためレベルが高い。良いメンバーが揃っているが故に、朝比奈氏の指導も厳しいようだ。毎年春秋二回の定期コンサートを文化ホールで開催しているが、次第にファンも定着しつつあり、団員のチームワークも固まってきた。

弦楽器奏者が集まって室内楽を演ったり、和気藹々とした雰囲気だ。現在ハーモニックとしてはメンバーをもっと増やして充実をはかりたいという意向を持っている。新年は一月二十日に元町ライオンズクラブ主催の演奏会が、演奏初めになる。

■神戸フィルハーモニック83スプリングコンサート/4月26日(火)於神戸文化大ホール
(合わせて35頁もお読みください)



S58, JANUARY
A HAPPY NEW YEAR

新しい年の、新しいスタッフが
 皆様を心よりお待ちしております。

東京・渋谷 スパゲティ専門店

Spaghetti **壁の穴**

三宮店：中央区三宮町1-5 サンロイヤル神戸10F (さんプラサ) TEL 078-332-4551 営業時間11AM~9PM 第1・3月曜休



右端が石野新会頭

● 神商議新役員披露パーティ

12月3日、神戸ポートピアホテルで、神戸商工会議所新役員・議員披露パーティが開かれた。石野信一新会頭は、ファッション都市づくりなどを強力に推進すると抱負を述べ、新会頭誕生に会場は祝賀ムードに包まれた。



喜びの受賞者たち

● 第8回ともしびの賞贈呈式

県下各地で永年にわたり地道な活動を続け、郷土の文化の向上に尽力した人々の功績をたたえる「ともしびの賞」の贈呈式が11月18日 県民会館で行なわれた。昭和57年度の受賞者は、能楽師・市場豊久さん、市民混声合唱団「デモス・コール」の梶井辰次さん、俳誌「貝の会」沢井我井さんら14名4団体。



作品の前で模 滋さん



受賞式パーティ

● ローズ・ガーデン美術公募展表彰式

暖かな日とりの11月23日、第6回ローズガーデン美術公募展の表彰式が行われた。大賞の梶滋さんの“円柱とその周辺”は、大きさや重量規定のワクの中でうまく個性を表現、木のもつ暖かみを生かした優しい作品。年々、出品作の質が向上、北野町が神戸の芸術村になるか!?



記念式典での大会シンボル旗の掲揚

● あと1000日!

昭和60年に開催されるユニバーシアード神戸大会まで1000日前の11月27日、神戸市役所前で記念式典が行われ、ムードが一段と盛り上った。記念式典での大会シンボル旗の掲揚

エトランゼの 輪郭 11

鴨居 玲

1928 / 生まれる 1949 / 金沢美術工芸大学卒業 1953 /
二紀会同人努力賞受賞 1965 / 南米に渡航 1960 / 第12
回安井賞受賞 1973 / 二紀会文部大臣賞受賞 1979 / 画
集出版 1980 / 神戸市文化賞受賞 無所属

ドーニャ リンダ・マニヤカ



モデル/リンダ・マニヤカさん(アルゼンチン)

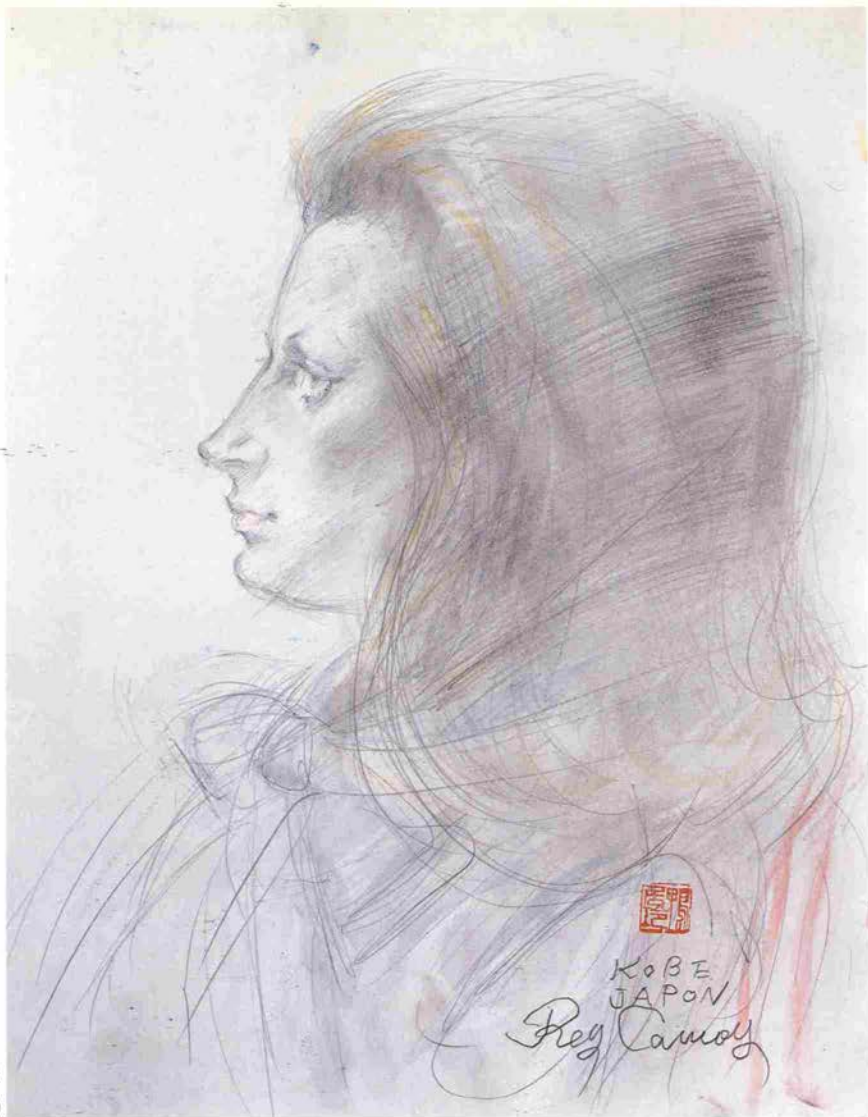
アルゼンチンには、ガウチヨと呼ばれる人達がいる。映画等でおなじみのカウボーイのことである。

アメリカのカウボーイは男らしく、まことに逞しいのだが、アルゼンチンのガウチヨ、即ちカウボーイ達は、それに加えて仲々のおしゃれ、幅広いガンベルトには、きらめくように銀の装飾をあしらひ、そして赤いボンチヨを肩にして、海のような大草原を牛を追って馳けめぐるのである。その姿は如何とも表現し難い程魅力的で粋なのである。

そのガウチヨにあこがれて、二十数年程昔に南米に渡ったのだが、ブラジル、ペルー、ボリヴィアと流れ歩いてくるその間に、テキーラやピンガーという、まことに強烈な南国の酒に溺れてしまい、ついにその夢は実現しなかった。

今日はからずも気品のある、優雅なマニヤカ夫人を描かせていただき、私は久しぶりに、はたせ得なかったアルゼンチンのガウチヨのことを想い出した。がしかし、それにしても私もすでに年老いてしまったようだ。

共に来宅され吾が家のチイターと戯れていた、人形の様に可愛いスーシーちゃん、貴女が美しいセニョリタに成人されるその日には、きっと地球上には戦争もなく人々は憎しみあうことも忘れて、ただ太陽のみが優しく輝いていることであろう。アスタラビスター。



DOÑA LINDA MAGNACCA

6F(水彩)